

「金書」研究への序説

楊 海英

—資料篇—

1	オーノス本「金書」	87
1.1	Qar-a sülde-yin takilγan öčig ([十二] 1~ [十六] 11)	87
1.2	Doluduyar sarayin arban dörben-e baγ-a doγšiγulun öčig ([十七] 1~ [二十] 13)	88
1.3	Yeke doγšiγulad öčig ([二十一] 1~ [二十三] 10)	89
1.4	Alaγ sülde-yin sang ([二十四] 1~11)	90
1.5	Alaγ sülde takilγa-yin öčig ([二十五] 1~ [二十六] 10)	91
1.6	Isi qatun öčig ([二十七] 1~ [二十九] 3)	91
1.7	Iši qatun ejin-ü γal-un öčüg ([二十九] 4~ [三十一] 3)	92
1.8	Yeke buyantu ([三十一] 5~ [三十二] 11)	93
1.9	Činggis qaγan-u yeke altan tügel ([三十三] 1~ [四十七] 9)	93
1.10	Altan ordu-yin miliyaγud ([四十八] 1~ [五十] 7)	98
1.11	Dörben čaγ-un qorim ([五十一] 1~ [五十二] 7)	99
1.12	Yeke alba ([五十二] 8~ [五十三] 5)	99
1.13	Ejen-ü kereg-ün qauli ([五十三] 6~ [五十四])	99
1.14	Altan Bičig-i sinedken tungγan bičigsen tuqai ([五十四] 3~4)	100
2	ウランバートル本「金書」	100
2.1	Boγda Činggis-un öčig orusiba. ([一] 1~ [七] 1)	100
2.2	Golumta-yin öčig (?) ([九] 1~ [十一] 7)	102
2.3	Sačuli-yin nige jüil (?) ([十一] 8~ [十九] 3)	103
2.4	Qutuγtu yeke qurim-un tügel ([二十一] 1~ [三十四] 11)	105
2.5	Qar-a sülde-yin öčig orusiba ([三十七] 1~ [三十七] 13)	109
2.6	Ejen sülde-yin sang orusiba ([四十三] 1~ [四十六] 8)	111
2.7	Sülde-yin sang ([四十六] 9~ [五十二] 6)	112
2.8	Boγda Činggis-un öčiγ orusibai ([五十三] 1~ [五十九] 3)	114
2.9	Qar-a sülde-yin takilγ-a ([六十一] 1~ [六十三] 3)	116
2.10	Naiman költü čaγan sülde-yin takilγ-a ([六十三] 4~ [六十七] 9)	116
2.11	Sülde tngri takiqu sang ene orusiba ([六十七] 10~ [七十四] 2)	118
2.12	Γaril-un daγudalγ-a ([七十七] 1~ [八十五] 3)	120
2.13	Yere yisün čaγaγčün-u sün sačulγan-u irügel ([八十五] 4~ [八十九] 6)	122
2.14	Altan Bičig-i sinedken tungγan bičigsen-ü tuqai ([八十九] 7~ [九十一] 2)	124
2.15	Čaγan sürüg sačuqui yosun ([九十三] 1~ [九十四] 12)	124
2.16	Žegesü-yin irügel ([九十四] 5~11)	125
2.17	Qoni manduqu irügel ([九十四] 11~ [九十五] 5)	125
2.18	Miliyaγud-un irügel ([九十五] 6~ [九十九] 8)	125

2.19	Dalaly-a-yin tuqai (【九十九】9～【百】7)	126
2.20	Naγur-un yosun (【百】11～【百八】5)	127
2.21	Altan Debter-i Bičigsen-ü tuqai (【百八】6～【百八】8)	129
2.22	Suu-tu ejen qatun-i altan qarsi-yin dotur-a bariγči saba-yin toγ-a (【百九】1～【百九】11)	129
2.23	Darqad-un γar-tu bayiqu saba-yin toγ-a (【百九】12～【百十】7)	130
2.24	Yeke qurim-un yosun-ü nige tasurqai? (【百十一】1～14)	130
3	「天のことばによる歌」(Tngri-yin kelen-ü daγun orušiba)	130

— 転写資料の索引 —

4	ケルレン・バラス・ホトの「金書」—写真版—	143
5	オーノス本「金書」—写真版—	163
6	ウランバートル本「金書」—写真版—	209
7	「天のことばによる歌」—写真版—	313

謝 辞

私はまず、深く学恩を受けてきた松原正毅先生（国立民族学博物館教授・地域研究企画交流センター長）、小長谷有紀先生（国立民族学博物館助教授）に心より感謝の意を申しあげたい。総合研究大学院大学入学以来、常に適切なご指導をいただいた。文部省科学研究補助費による海外調査の一員として連れて行っていただき、六年間にわたって広く北・中央アジア各地を踏査できたことは、今後の私の研学生活と人生において、大きな財産になるものと信じている。

本研究の成立を可能にしたのは、貴重な文書資料を提供して下さったオーノス氏である。いまや世に伝わっているかどうかすら分からなかった「金書」を見たとき、私は本当に驚いた。ぜひ、それをテキストとして公開したいという私の願いを受け入れてくださり、そのうえいろいろとご教示をいただいた。「金書」研究に関する基本的な情報は、すべてオルドス地域のチンギス・ハーンの祭祀者ダルハトたちから聞きとった。名前を全部あげることは不可能であるが、とくにダルハトのシャルルダイ（Šaraldai）氏、グルジャブ（Gürjab）氏、チョロンバートル（Čilaryun Bayatur）氏らに感謝の気持ちを表す。

モンゴル国での調査の際は、同国文化財保護センター長ルハグバスレン氏（Lhagvasuren, ICHINKHORLOOGIN）のお世話になった。ロシア語の文献もルハグバスレン氏に訳していただいた。また、国立中央図書館セルジ館長（Serjee, ZHAMBALDORJIIN）の好意により、文書を見ることができた。併せて感謝の気持ちを申しあげる。

原稿編集にあたっては、コンピューター組版と索引づくりで、同志社女子大学生生活科学部の猿田佳那子助教授の手を煩わした。お蔭様できれいな製版ができた。衷心よりありがとうございますの気持ちを伝えたい。

最後に、本研究が公開出版できたのは、ひとえに国立民族学博物館教官の諸先生方のご支持によるものである。大学院時代より私の研究活動を暖かく見守ってきた諸先生方に感謝の意を表す。

1998年 春

平成10年3月23日 発行 非売品

国立民族学博物館調査報告 7

著 者 楊 海 英

発 行 国立民族学博物館

〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1

TEL 0 6 (8 7 6) 2 1 5 1 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

TEL 0 7 5 (4 4 1) 3 1 5 5 (代表)

Senri Ethnological Reports 7

An Introduction to *Altan Bičig*

Yang Haiying

National Museum of Ethnology

ISSN 1340-6787